

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2008-501038(P2008-501038A)

【公表日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2007-515512(P2007-515512)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/519 (2006.01)

C 0 7 D 475/08 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/519

C 0 7 D 475/08

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

T細胞リンパ腫の治療用薬剤の製剤における、10-プロパルギル-10-デアザアミノプテリンの使用。

【請求項 2】

10-プロパルギル-10-デアザアミノプテリンが、10-デアザアミノプテリンを実質的に含んでいない請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

薬剤が、1用量当たり10-プロパルギル-10-デアザアミノプテリンを30から275mg/m²の量で投与するように製剤される請求項 1 又は 2 に記載の使用。

【請求項 4】

患者が診断されたT細胞リンパ腫が、

(a) 胸腺からの原始的リンパ性前駆細胞に悪性腫瘍が生じる、リンパ芽球性リンパ腫、

(b) T細胞前リンパ球性白血病、T細胞顆粒リンパ球性白血病、活動性NK細胞白血病、皮膚T細胞性リンパ腫（菌状息肉腫セザリー症候群）、未分化大細胞リンパ腫、T細胞型、腸症型T細胞リンパ腫、HTLV-1に関連するものを含む成人T細胞白血病／リンパ腫、及び血管免疫芽球性T細胞リンパ腫、及び皮下脂肪織炎性T細胞リンパ腫からなる群から選択される、成熟又は末梢T細胞新生物、並びに

(c) 最初にリンパ節副皮質を冒し、真の濾胞状パターンに成長することのない、末梢T細胞リンパ腫

からなる群から選択される、請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の使用。

【請求項 5】

前記T細胞リンパ腫が、リンパ芽球性リンパ腫である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

前記T細胞リンパ腫が、末梢T細胞リンパ腫である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 7】

前記 T 細胞リンパ腫が、H T L V - 1 関連 T 細胞リンパ腫である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 8】

前記 T 細胞リンパ腫が、脂肪織炎性 T 細胞リンパ腫である、請求項 4 に記載の使用。